

うめナビ

2014.8
Vol.29

来る創業100周年クリエイティブ力で ペーパーボード事業を推進 エコ社会実現へ

トーン・アップ

5年後に100周年を迎えるトーン・アップ(中央区銀座、富田和伸社長、03・3549・5781、<http://www.toneup.co.jp/>)は、新聞・雑誌・ポスターなどの広告製版・SP事業を行い、手がける広告は年間1万点以上のぼる。

主要クライアントには、サントリ・パナソニック・味の素・シャープ・ダイハツ・サッポロなど多様な大手企業が並び、また、電通グループ・博報堂グループ・ADKグループ・大広・マッキンゼーエリクソンなどの業界大手エージェンシーとも永年お取引している。

また、軽くて強いペーパーボードを活用する新事業を始動した。材料となる補強ダンボールは、エコ先進国スウェーデン製の Re-Boardをはじめ国内外で多く開発され、特に強度の高いものは車などの重量物を乗せることもできる。多様な材質に直接プリントが可能なUVインクジェットマシンや大型のマルチカッターを導入し、店舗ディスプレイや家具、什器、展示ブースなどさまざまな製作に柔軟に対応できる。元が紙だから、加工や組立て・分解が簡単でリサイクルも可能なエコ商材として注目を集めている。今後、業務用、一般消費者向けと、ペーパーボードの用途開発を本格的に進めていきたいと考えている。



ペーパーボードで製作した、高さ2mの屏風と電話カウンター

テーブルと椅子、壁面装飾もペーパーボードで製作

また、軽くて強いペーパーボードを活用する新事業を始動した。材料となる補強ダンボールは、エコ先進国スウェーデン製の Re-Boardをはじめ国内外で多く開発され、特に強度の高いものは車などの重量物を乗せることもできる。多様な材質に直接プリントが可能なUVインクジェットマシンや大型のマルチカッターを導入し、店舗ディスプレイや家具、什器、展示ブースなどさまざまな製作に柔軟に対応できる。元が紙だから、加工や組立て・分解が簡単でリサイクルも可能なエコ商材として注目を集めている。今後、業務用、一般消費者向けと、ペーパーボードの用途開発を本格的に進めていきたいと考えている。

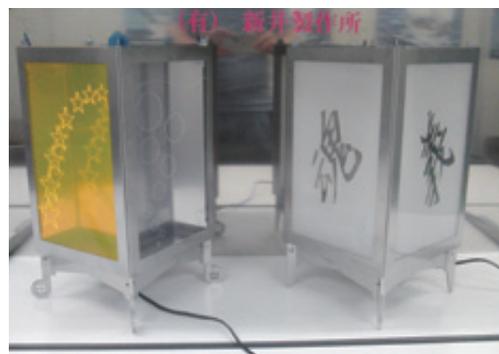
同社は、広告製版で培った高精度なカラーマネージメント技術や、グラフィック分野に関する強みを活かして、この10年で事業領域を拡大してきた。広告の画像制作や、大型インクジェットプリンタを使用した大判ポスター出力、そのほか、セールスプロモーションやWEB・映像制作など、幅広いクリエイティブ制作機能で、お客様のニーズを細かく反映させられる。

「イメージ」から「形」へ 職人と機械の融合による 「ものづくり」

新井製作所

新井製作所(横浜市都筑区川向町、新井健社長、電話045・472・4697、FAX042・474・0933)は、昭和53年の創業以来、精密板金加工をはじめ、計測装置部品加工、半導体装置部品加工など、多様な部品加工を主業としている。機械による精密機械加工を得意とし、溶接や曲げ加工なども幅広く対応している。

同社の特長は、「提案型」のものづくりを行っているところである。単に取引先メーカーから預かった図面を基に製造するだけではなく、より良い製品とするために、図面の変更を提言したり、お客様のニーズを探り、二人三脚で具体的な「形」にしていく。これまでの概念に囚われず、社長以下全社員が一丸となって、「形」をつくり上げてきた結果、取引先メーカーからの信頼は厚い。



燈籠をモチーフにした若手職人による試作品



新井 健社長

最後に新井社長は「ものづくりにはたくさんの方が詰まっている。お客様の『イメージ』を『形』にできた時が何よりものやりがい。その『形』が、少しでもお客様の発展や社会への貢献につながれば嬉しい」とものづくりへの情熱を語ってくれた。

同社では、工場内の機械のレイアウトや動線にも工夫を凝らし、加工、組み立て、検査、出荷の流れをスムーズにし、納期の短縮化を図っている。同時に、高品質を維持するため、工程ごとに職人による品質チェックが行われており、特に繊細な加工が必要な部品の

また、同社では高品質を維持するための人材育成にも力を注いでいる。作業現場では、熟練した職人が積極的に若手の職人へのマンツーマン指導を行っている。それだけではなく、若手職人による個性のある試作品製作にも力を入れ、個々人のスキルアップも図っている。「これからの世代を担う若い人たちの『アイデア』や『イメージ』は、当社の貴重な財産。社員と一緒に考え、『形』にしていくことを大切にしている」と新井社長は若手職人の仕事ぶりを見つめながら言い切る。

うめナビ 送付先業種												合計 334先
	商社 13先	スーパー・小売・百貨店 24先	メーカー 18先	マスコミ 59先	教育(大学・専門学校) 31先	公共機関 17先	ホテル 14先	金融 53先	建設関連 20先	システム関連 11先	その他 74先	

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

完全無添加・厳選素材・低糖度にこだわった コンフィチュールが育む 「笑顔と感動の輪」

Sakurayama果房

Sakurayama果房(中野区新井、中島まさ子オーナー、03・5942・5013、<http://www.sakurayama-kabo.com/>)は、23年11月にオープンしたコンフィチュールと焼き菓子の店である。中島オーナーの故郷である岡山県産のフルーツを中心に使った同店のコンフィチュールは、甘さ控えめで果実本来の風味を損なう



ことなく、ナチュラルな味わいを楽しめる。朝食やデザート、お菓子や料理にと幅広く利用できるほか、フルーツタルトやパウンドケーキなどの焼き菓子もバラエティ豊かで人気を博している。お中元やお歳暮、お祝いや記念日の贈り物としても好評であり、コンフィチュールは常時30種類以上、焼き菓子は20種類以上という豊富な取扱商品の中から、お客様の好きな菓子を組み合わせて詰められる「オリジナルギフト」も、大きな魅力である。

完全果実だけを、厳選して使っている。それらのフルーツは果汁の瑞々しさと舌触りを大切に、手作業で丁寧に切り分けられ、控えめにした砂糖とともに優しくゆっくり煮詰められていく。

ぜひ一度同店へ足を運び、春夏秋冬それぞれのフルーツが内に秘める旨味・甘味・香りを最大限に活かしたおいしさを、思う存分に堪能していただきたい。



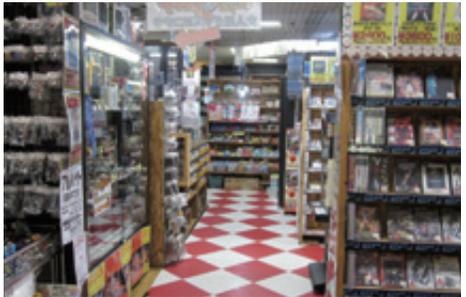
自慢のコンフィチュール



選ぶのに迷う?! タルト各種

繰り返される、楽しさと懐かしさ 町田発「リサイクル エンターテイメントストア」

お宝鑑定館「町田店」



時間を忘れて楽しめる店内

(有)Zainの経営するお宝鑑定館「町田店」(町田市小山町、小屋善一郎社長、042・797・3781)は、創業以来、お客様との「感動の共有」をコンセプトに、おもちゃ・ゲーム・コミック・CD・古着などのリサイクル商品を中心に、買取・販売を行う郊外型の大規模小売店である。

圧倒的なボリュームの商品陳列と楽しさいっぱい店頭は、来店されたお客様のワクワクする空間が演出されている。掘り出し物やレトロなものとの出会いは、「楽しさ」と「懐かしさ」の感動を呼び起こす。まるで、本当の宝探しをしているかのように賑わうその空間は、子供から大人まで、時間を忘れて楽しめる遊びのフィールドである。

このように、「中古」という従来のリサイクル品のイメージを変えることが、同社の活動テーマの一つとなっている。不要品が、必要としている人にとってはただ価値を持つという発見。時間を

越えて価値を共有できる喜び。ものへの愛情を確認できる安心感。そういった感動の演出こそ、「リサイクルエンターテイメントストア」と呼ばれる同社の重要な役割なのである。

ものが大量に生産、消費され、そして廃棄される現代社会の諸問題に対し、改めてものへの愛情を思いおこすことで、あくまで皆で楽しく解決していくこと。ここにリサイクルのポジティブな原動力がみえてくる。

また、店舗販売のほかに、時代のニーズに応え、楽天市場内に古着専門ショップ「GARAGE INC.」を運営している。実店舗と併売し、「地域No.1の品揃えの古着売場を、インターネットを通じて、足を運ぶには遠い古着ファンにもご覧いただきたい」と小屋社長は意気込みを語る。商品一つひとつについて、状態・サイズ・店員のコメントなど詳しく説明されており、消費者の目線に立って、安心して買物ができるよう工夫が凝らされている。「GARAGE INC.」の詳細内容についてはこちらまで。
(<http://www.rakuten.co.jp/auc-otakan-machida/>)

50年来の郷愁漂う暖簾をくぐれば、 そこは、味の店 「さんご食堂」

さんご食堂

さんご食堂(品川区西品川、内藤一彦店主、03・3491・9514)は、JR山手線大崎駅から徒歩7分の百反通り沿いで営業している。50年にわたって、地元のお客様を中心に根強い人気を誇る食堂である。

現在は、内藤夫妻と息子の和也氏と3人でお店を切り盛りしている。昼は食堂、夜は居酒屋というスタイルの飲食店は珍しくないが、同店は一貫して夜間も食堂としての営業を貫いている。そこには、「いつでも安価で家庭的な食事を提供したい」という内藤店主の強い思いがこめられている。

人気メニューは創業当時から変わらない「さんごセット」(750円)である。ハンバーグとベーコンエッグに千切りキャベツと味噌汁付き。ごはんもお茶碗2杯分とボリューム満点。ハンバーグは昔ながらのデミグラスソース、肉厚のベーコンに目玉焼きも半熟の焼き加減が絶妙でごはんが進み、満足



ボリュームたっぷり!人気の定番メニュー「さんごセット」。

感がある。昼食時は食堂に入りきれず、ぐるなびでも「行列のできる食堂」という書き込みが目を引く。笑顔を抑えやさない内藤夫妻の明るい「いらっしやい」「ありがどうございませう」という声からも、地元企業で働く仕事帰りのサラリーマンから家族連れまで、たくさんの方々の交流を大切にしている。この地で長年地域に密着し、人々の交流を大切にしている。この地で長年地域に密着し、人々の交流を大切にしている。この地で長年地域に密着し、人々の交流を大切にしている。

定休日: 日曜日・祭日
営業時間: 昼11時~14時
夜17時~22時

ほつとする「しあわせ」をお届けして90年 パーソナルユースのリネンサプライ 新しいライフスタイルを提案

玉川グループ
玉川繊維工業所

玉川グループの展開する玉川繊維工業所(世田谷区松原、関口雅章社長、0120・17・17・18)

は、リネンサプライとベッドクローズを基幹事業として、創業から91年目を迎えた。「リネンサプライ」というビジネスが事業として成立するようになったのは東京オリンピックの頃で、その歴史は比較的新しく、まだなじみのない人も多い。

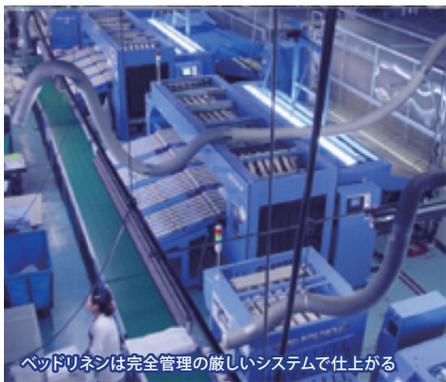
「リネンサプライ」の「リネン」とは繊維製品、「サプライ」は提供するという意味である。つまり、ホテルやレストランで使用するシーツ、ベッドカバー、タオル、テーブルクロス、ナプキンなどの布製品を常に洗いたての美しく清潔な状態で、継続的にレンタルするビジネスのことだ。ホテルのベッドに子供のようにダイブしたり、ディナーテーブルにセットされた真っ白なナプキンを広げたり、バスルームでふかふかのタオルを使ったり、夢のような非日常の時間を満喫できるのは、リネンサプライ



ベッドリネンを月2度お届けするサービス

の役割が大きい。

そして、今度は「洗いたてのシーツやベッドカバーなどのリネンを、団塊世代の奥様方にお届けしたい」。関口社長が長い間温めていた新しい個人向けビジネスプランがいよいよ走り出した。「日本経済を牽引してきた団塊世代のシニアを陰から支え続けた奥様に、そろそろ楽をさせてあげたい。シーツを買ったり、洗濯したり、干したり、ベッドメイキングしたり毎日の重労働から解放し、ご家庭にホテルライフのような幸せの時間を届けたい」と関口社長は語る。



ベッドリネンは完全管理の厳しいシステムで仕上がる

ベッドリネンを月2度お届けするプラン/ベッドメイキングのサービスを加えたプラン/布団、ベッドパッド、毛布のクリーニンングプランなどきめ細かく対応し、高齢化社会の介護ニーズ増に向けて、個人でもベッドリネンをレンタルする新しいライフスタイルを提案する「ドリームコンシェルジュ倶楽部」の詳細は <http://doriconclub.jp> へ！

お客様との距離を大切に！ 食に話に、花が咲く、 楽しい時間をお過ごしください

IL FIORE

IL FIORE (イルフィオーレ) (町田市南つくし野、住吉久美子社長、042・796・2230)は、今年6月に開店したイタリアンレストラン兼ワインバーである。田園都市線すずかけ台駅から徒歩30秒という好立地。町田駅で人気のワインバーを経営する住吉社長が、「地元で楽しい時間が過ごせるお店を」と名付けた店名は、イタリア語で「花」を意味する。ランチでは住宅街の奥様方に華やいだ時間を過ごしてもらい、ディナーでは仕事帰りのお客様の心を癒す花のように、そして休日には家族で話に花を咲かせてほしいという想いが込められている。



ワインやアンティパストも豊富に揃える

一番大切にしているのはお客様との距離感。白を基調とした外観から店内に入ると、カウンター席8席、テーブル6席のアットホームな空間が広がる。お客様の目の前で調理をするので、量や味付けも好みに合わせやすく、メニューにもないものをご注文いただくことも可能である。ランチメニューは



白が基調の爽やかな店先

地元で注目を集め、リピーター急増中。何度ご来店いただいても満足いただけるように、メニューの品数を多めに設定し、飽きの来ない店づくりを心がけている。特にソースやドレッシング類は、仕込みに時間がかかってもすべて手作りにこだわっている。「家族や友人同士はもちろん、一人でも気軽にくつろいでいただける場所でありたい。これからも末長く愛されるよう頑張りたい」と店長は話す。

慶弔事・プレゼント・お見舞いに 「あなたの真心」を 花のエキス・パートが伝えます

花のわきはら



花のあふれる店頭で、奥様の脇原昌代さん(左)

ティーのオブジェ・イベント・ディスプレイ・店舗開店花・慶弔時生花まで、個人向け・企業向け(毎週のロビー生けこみなど継続的なニーズ)問わず、心をこめたサービスを徹底している。

花のわきはら(脇原静社長、会社・横浜市神奈川区三沢下町、045・433・1187/店舗・横浜市神奈川区大口通、045・432・8711)は、昭和30年10月の創業から生花販売を手がけ、今年で60年目を迎える。横浜市大口駅大口通商店街で長年営業を行い、地元信用信頼を得ている。

「花で真心を伝える」をコンセプトに掲げる
同社では、従業員一同お客様に情熱をもつて接し、ご家庭で飾っていただく花びん花・仏花・ガーデニング・観葉植物から、贈答用の洋蘭・花束・アレンジメント、パー



同社主力商品胡蝶蘭は、今でも公式の贈答品として人気が高い

大切に。それぞれのお客様のニーズに合わせて満足していただき、喜んでいただける商売をしていきたい」と脇原社長は語る。
創業60年と永い業歴より、顧客層も個人のお客様はもちろん、オフィス・飲食店・芸能プロダクションなど幅広く地元のお客様に愛され支えられて、商店街に溶けこみこれからも営業を続けていく。

非接触バイタル感知センサーの開発・応用を極める 「見守りベッドセンサー」 「見守りルームセンサー」

ミオ・コーポレーション

ミオ・コーポレーション(相模原市中央区南橋本、井出智祥社長、042・771・7300)では、少子高齢化が進む日本でニーズの高まる「介護」に着目。ベッドにセンサーを埋めこむベッドタイプの「見守りベッドセンサー」、部屋の壁などに設置するルームタイプの「見守りルームセンサー」を開発した。この製品は、第二次大戦中に障害物の先で敵の兵士の動作を把握するため開発されたドップラーセンサーの技術を応用したものである。



見守りルームセンサー



見守りベッドセンサー

「見守りベッドセンサー」は同社独自のマイク口波で要介護者の離床、着床やバイタル値(脈、呼吸、体動)を感知し、使用目的に応じて、パソコンやタブレット端末を通じてメールなども情報発信できるので、遠隔地からの見守りも可能である。同製品の特長としては、①非接触で脈、呼吸、体動のセンシングができる。

さらに、「見守りルームセンサー」は介護分野だけではなく一般家庭でも活用できる。例えば幼児の留守番では、センサーの認識エリアを外れた場合や、外部からの侵入時に警報を発信する。その他にも、睡眠記録や動物の手術後の経過確認にも応用が期待される。離れた位置から人や動物の体の状況を把握できる同製品は、アイデア次第で幅広い用途に応用できるだろう。

データを出力できる。③センサー内部に閾値を設け、脈、呼吸、体動の有無を自動で判断し出力できる。介護施設にも、要介護者の状況によっては監視されているという嫌悪感で防犯カメラを壊されるなど、さまざまな問題が起きている。しかし、ベッドに内蔵する同製品なら、要介護者に心理的な負担を与えることなく見守ることができる。



同社の加工技術力が光る切削工具の数々



作業現場

より暮らしやすい社会の実現へ、さらなる製品開発・改良をめざす同社の挑戦はまだ続く。

新研磨技術分野では経営革新経営法を取得し、平成13年には大田区の「優工場」認定制度の中でも特別優秀賞を獲得した。社員の平均年齢は若く、ほとんどが新卒社員で技術の蓄積伝承が進んでいる。平成18年度には、ものづくり大田区の特徴である技術力、および羽田空港の物流と、北海道の若手人材を合わせた第二工場を、千歳市に開設した。

私達は工具のドクターです。私達は工具を甦らせませす。私達は工具の寿命を延ばします。私達は工具の性能を高めます。これが大志技研(大田区大森西、斉藤勝社長、03・3762・4351、http://www.taihigiken.com)のキャッチフレーズである。同社は昭和49年品川区中延で、創業した。持ち前の技術力を活かして、生産性を大幅に高める多段付ドリルや複数工程を一度に加工できる総型カッターの加工分野にも進出して、業界有数の会社に発展してきた。その後、工具の付加価値を大幅に高め、寿命を5倍から10倍に高めるコーティング加工サービスに進出して加工物の材質にあった各種のコーティングを提案提供している。



大志技研 齊藤勝社長

「工具のドクター」 切削工具の再研磨・追加工で ものづくりを支える

大志技研

大正15年3月に創立されたアメリカン電機(大田区北嶺町、小池眞司社長、03・3729・3137)は、コンセント、プラグ、OAタップなどの配線器具の「開発」、「設計」、「金型製造」、「商品組立」、「市場開拓」、「販売」までを一貫して行っており、お客様の細かいニーズに即座に対応するだけでなく、短納期のお届けで業界のトップブランドとして走り続けている。

同社の主力製品である引掛形配線器具は、プラグ栓刃がR状になっており、コンセントに差し込んだ後、右に回すとロックがかかり、引き抜くことができなくなる画期的な製品であり、60年以上も前から先駆的に製造販売してきた。他にも、同社が提供するコンセント、プラグなどの各種製品は、すぐれた機能性だけでなく、お客様の要望に応えられる多種多様なラインナップの柔軟性、品質の高さから、産業用配線器具として造船業界、自動車業界、銀行のATMなど、各業界の中心事業に広範囲にわたって使用されている。コンピュータの現代、今やなくてはならない存在である。また、同社は、安全性に関しても、製品だけでなくそこで働く「人」にも同時に力を入れている。同社では、大切な社員に何かあってはならないという小池社長の強い思いから毎月「安全デー」という日を設定し、安全に対する意識づくりを社員に徹底している。その結果、平成24年には無災害記録5400日を達成し中央労働災害防止協会より金杯を受賞、現在も無災害記録を更新している。社長の想いを受けた、社員一人ひとりの安全への高い意識が、同社製品の高い安全性を維持する秘訣となっている。



工場の作業現場

常に安全でかつ、お客様のご期待を超える最高レベルの商品を提供するために、これからも同社は付加価値を高めた製品づくりに取り組んでいく。詳しい情報については、ぜひ同社のホームページをご覧ください。(https://www.americandenko.co.jp/)

今と未来をつなぐ! 最新配線器具で 豊かな生活をサポートします

アメリカン電機